



楽しいスモールグループディスカッション

JADDEC 年次学術集会の魅力

第13回JADDEC年次学術集会 会長 津村和夫

良い医療を届けるために

新たな薬や検査デバイスの登場、デジタル技術の導入、多職種連携の深化、さらには当事者参画の重要性など、現場を取り巻く環境の変化は驚くほどダイナミックです。同時に、ダイアベティス・糖尿病と共に歩む「一人ひとりの人生」を大切にして、「その人らしい生活」を支えていく医療実践の姿は、今も、そしてこれからも変わることはありません。

JADDEC年次学術集会は、動と静の両面を持つこの難しい時代の中で、医療者が専門性を磨き、現場の知恵を持ち寄り、より良い

医療を社会に届けるためにチカラを高めることができる場所です。さまざまな職種の医療者が垣根を越えて集い、共に考え、語り合うことを大切にしています。

この学術集会の最大の特徴は、「スモールグループディスカッション」を数多く取り入れて、「対話と交流」を重視している点にあります。2013年の第1回開催以来、このスタイルは一貫して受け継がれてきました。一方通行の講演を聴くだけでなく、参加者同士が顔を合わせて意見を交わし、現場での工夫や悩みを共有することで、新たな気づきや発想が生まれます。そこには、立場や経験年数の違いを超えたフラットな議論があり、「明日からの診療に生かせる本当の学び」があります。さらに、毎年数百人に及ぶ企業関係者も参加し、医療者と共に理想の医療のあり方を考えるプラットフォームとして発展を続けています。産学が協働し、社会と共にダイアベティス・糖尿病医療の未来を描くことは、本集会ならではの魅力です。



メインホールにおける運動セミナー



協力しながら進めるグループ発表



フットケアの実践セミナー



熱心に教育講演を聴講する参加者

**本質を見抜くチカラ
未来への扉をひらく勇氣**

毎年、熱心に議論を交わす参加者の輪、笑顔で語り合う多職種の姿、真剣な眼差しで発表に耳を傾ける若手医療者の姿が随所に見られます。各セッションで自然と会話が生まれ、初対面ですぐに打ち解けて、互いの経験を共有する光景が見られるのはとてもうれしいことです。

第13回JADEC年次学術集会は、2026年7月18日(土)・19日(日)の2日間、国立京都国際会館にて開催されます。今年のテーマは「本質を見抜くチカラ 未来への扉をひらく勇氣」。困難を克服するためには、その背景や原因の根幹をなす本質を、迅速かつ正確に見極める能力が求められます。そして、解決策が見えた先では、勇氣を持ってこれを実行せねばなりません。自分を変えて、組織を変えていくためのところと技術も必要です。わたしたちは何のために医療を実践するのか。その原点に立ち返りながら、未来への一歩

を踏み出すための知恵と勇氣を共有する場になりたいと考えています。ダイアベティス・糖尿病のある方々の人生に寄り添い、より良い医療と社会を共に創っていくために、ぜひ本学術集会にご参加ください。皆さまと京都の地でお会いできることを、こころより楽しみにしております。

13th JADEC 年次学術集会

本質を見抜くチカラ
未来への扉をひらく勇氣

Diabetes 対話と交流

会期：2026年7月18日(土)
19日(日)

会場：国立京都国際会館
会長：津村 和大 (川崎市立川崎病院)

EBM チーム 成長 CDE

充実の対話型集会 チーム医療の最前線

主催：JADEC Japan Association for Diabetes Education and Care
公益財団法人 日本糖尿病教育会

www.nittokyo.or.jp JADEC 検索

第13回JADEC年次学術集会 開催概要

会期：2026年7月18日(土)～19日(日)
(2026年8月中に一部プログラムをオンデマンド配信)

会場：国立京都国際会館

会長：津村 和大 (川崎市立川崎病院)

参加対象：ダイアベティスケアに携わる
医療者・行政職員・企業社員

予定プログラム

- 多彩な教育講演・シンポジウム
- 現場の課題を取り上げた一般演題
- スモールグループディスカッション(10テーマ以上)
- スタートアップセミナー ●体験プログラム
- CDEミーティング ●CDEL活動報告 ●研究助成報告 など

第1日 7月18日(土)								
	メインホール	さくら	Room D	Room E	Room C-1	Room C-2	イベントホール	ホワイエ/Room H
8:00								
	開会式							
9:00	サイエンスとアートの融合 食事	特別募集 チーム医療実践例 JADEC資材活用例 高齢者糖尿病 臨床研究助成報告	口演発表1	口演発表3	口演発表5	口演発表7	ポスター発表	企業展示
10:00	サイエンスとアートの融合 運動		口演発表2	口演発表4	口演発表6	口演発表8		
	サイエンスとアートの融合 薬物							
11:00	会長講演							
12:00	LS①	LS②	LS③	LS④	LS⑤	LS⑥		
13:00	シンポジウム①	コントラバシー どこまで制限する？ 高齢者DKD	スモールグループ ディスカッション	スモールグループ ディスカッション	スタートアップセミナー 自己注射	スタートアップセミナー 運動	スモールグループ ディスカッション	
14:00		コントラバシー いつまで続ける？ 栄養指導						
15:00		フロントラインセッション AI活用法			スタートアップセミナー フットケア	スタートアップセミナー 食事		
	鼎談 ダイアベティスの 過去・現在・未来	シンポジウム②						
16:00	表彰式		CDEL活動報告※ 研究助成報告※	※メインホールホワイエ				
17:00	受賞講演		CDE meeting	本質を見抜く対話ラボ EXPERT社員×医療者 共創セッション				
18:00	イブニングセミナー 肥満症治療の新時代 ～肥満をどうとらえ直すか～							
19:00								
20:00		イブニングセミナー 情報交換会						
現地開催のみのプログラム 現地開催+オンデマンド配信プログラム								
第2日 7月19日(日)								
8:00	モーニングセミナー							
9:00	シンポジウム③	コントラバシー どちらを優先する？ 糖尿病薬	スモールグループ ディスカッション	ハンズオンセミナー SAP/CSII	スタートアップセミナー 自己注射		スモールグループ ディスカッション	企業展示
10:00		災害下の糖尿病診療			スタートアップセミナー フットケア	スタートアップセミナー 食事		
11:00	シンポジウム④	シンポジウム⑤						
12:00	共催シンポジウム (LS⑦)	LS⑧	LS⑨	LS⑩	LS⑪	LS⑫		
13:00	CDEが支える 安心の低血糖対策	体験プログラム カードシステム	体験プログラム カンパセーションマップ	体験プログラム 血糖自己測定				
14:00	シンポジウム⑥							
15:00	閉会式							

シンポジウム

- ① 本質を見抜くチカラ
～多職種の“リアル”を学ぶ参加型シンポジウム～
- ② 地域特性に応じた医療
- ③ ダイアベティス医療の価値を可視化するために
～医療の質・経営・社会的価値の再考～
- ④ プロフェッショナルに学ぶ発信力と情報リテラシー
～ダイアベティス医療と社会をつなぐ情報戦略～
- ⑤「伝える」から「引き出す」へ
～ダイアベティス医療におけるコミュニケーション実践学～
- ⑥ 共感だけで終わらせないアドボカシー

スモールグループディスカッション

- | | |
|---|---|
| <1日目>
移行期医療における困難の克服
高齢者の栄養・食事療法
災害対応
ダイアベティス解体新書！
MASH/MASLD | <2日目>
重症化予防の理想と現実
歯科医科連携
皮下硬結
肥満
ハンズオンセミナー SAP/CSII |
|---|---|

JADEC HPで事前参加登録

参加費 会員：¥10,000 非会員：¥15,000

